



発行日 2017. 12. 20

生活クラブ連合会
TEL:03-5291-6700
FAX:03-5285-1839

★生産者にとって、夢都里路くらの援農とは？

♥夢都里路くらの援農に参加された人の感想の中には、「色々勉強になったが、生産者の助けになったかどうか・・・？」というものがあります。援農を受け入れている農家、農協の夢都里路くらの実施する意味について、伺いました。

★最近、体験や交流をしにくる人が少なくなってきたので、夢都里路くらは産地にとって大事な手段です。外から人が来てくれることは、農家ではない視点からの意見や感想を聞くことができるので農業や日頃の作業への考え方、やり方に幅を持つことができます。この取り組みは、産直のキとなる活動だと捉えています。価値観の異なる人たちが一つの畑に入って作業をすることがおもしろいところです。
(やさか共同農場 佐藤さん)



佐藤さん

★夢都里路くらの皆さんは、頑張ってくれ、初心者にも教えてくれるなど、効率の面でも大変助かっており、経営の中で欠かせないものとなっています。援農で全部完璧にやろうとは考えていないので、今後の期待としても継続して、食べる人に現場の大変さを体感してもらいたいと思います。
(JA庄内みどり 松本さん(庄内柿))



松本さん

★農家の現場を消費者の方に見て体験してもらうことはとても大切なことで、その交流を生活クラブさんを通してできることは、とても意味深い企画だと思います。見てもらったこと、体験してもらったことが農家の実態です。農作業の大変さ、考え方、その先の収穫の喜びを少しでも理解してもらえたら幸いです。単にカタログを見

て購入するより、その大地、生産者を見て語り、体験してもらえたら、食に対する思いが全く変わると思います。(ながさき南部生産組合 大島さん)

★消費者に生産している現場を見てもらえること、直接話ができることがよい。連続してきていただいた方もおり、援農としてだけでなく、交流、新たなファンづくりの場にもなっています。(無茶々園 西田さん)

★夢都里路くらの受け入れをしてきて、本当に良かったと思っています。夫婦二人では仕事が終わらない。一人前とは考えていませんが、早く終わった分、温泉に行って休養できる。これからも、交流しながら続けていくことを希望します。(JAさくらんぼ東根 植松さん)



植松さん

★援農に来る人から生活クラブの理念を感じます。「援農に徹している」ことが継続している要因だと思います。加工トマト栽培の継続性に、夢都里路くらの援農が役立っています。「食べる人がそばにいる」と思えることが大きな意義。励みとなります。(JA加美よつば 一條さん)



一條さん

♥作業面で助かった、ということの他に、農業の現場に来てもらう、顔を合わせて一緒に作業する、直接意見を聞くことができる機会として期待する声が聞かれました。

★援農に参加した方の感想はこちら

●「広い畑に鈴なりの柿にワクワク」(キウイフルーツの収穫；栃木県開拓農協)

・一面の広い柿畑に鈴なりになっている柿を見るときワクワクしました。2日目にはすっかり採り終わって、次はどんな仕事かなと思うまもなく倉庫に積まれたコンテナの中身を台の上に広げて重さや大きさを別に分けるのも面白い仕事でしたが、なれない素人の私たちには早くできなくて、でもなれた頃には帰る時間になっていました。



キウイフルーツの収穫

農家さん(生産者)は大変なお仕事をいつもなさっている中、親切にして頂き、とても楽しく過ごせたことを感謝申し上げます。(東京、70代女性)

●「いい経験、いい勉強の場です」(美味しいみかんの収穫；紀州果宝園)

・生産者の方が山を切り開き道をつくり、昔は天秤竿に、前に二籠、後ろに二籠担ぎ、下まで降りられたとの話を聞き、店頭のみかんが愛おしく、また農家さんのお仕事、いかに大変であるのかを再認識させられました。後継者が



みかんの収穫

いなくあんなに美味しいみかんの山を手放すようなお話を聞いたのは切ないです。私の人生で、援農に参加したことが凄くいい経験、いい勉強の場になっています。これからも企画内容を増やしてほしいと思っています。(大阪、60代女性)

企画への申込・問い合わせは、夢都里路(ゆとりろ)くらぶ TEL:03-5291-6700 まで

次号発行予定 1/20ごろ